

# はにわ通信

No.296 令和元（2019）年11月号

17日に「いいなん・ふれあいまつり」  
24日に「うれしの天白縄文まつり」  
で 古代体験イベント があるよ！



「いいなん・ふれあいまつり」が11月17日（日）に10時から15時まで飯南産業文化センター周辺で、「うれしの天白縄文まつり」が24日（日）に10時から14時まで、国史跡天白遺跡公園で行われます。文化財センターでは、この2つのイベントで古代体験「勾玉づくり」「組みひもづくり」などを企画しています。また、歌や踊りのステージや地元物産品販売などが催されます。是非、お越しください。

## 【天白遺跡を紹介します】



配石遺構（復元）

24日（日）にうれしの天白縄文まつりを開催しますが、その天白遺跡（嬉野釜生田町）を紹介します。

天白遺跡は、縄文時代後期から晩期の遺跡で、発掘調査の結果、西日本ではめずらしい川原石を円形に並べた配石遺構がみつけられました。その他にも、たくさん人の形をした土偶や祈りを行う際に火を焚いたと思われる焼土なども発見されています。これらから、天白

遺跡は祈りの儀式の場であったと推測されます。儀式の用具として使われた土器片や石器が700点以上見つかっています。その中には、「朱」と呼ばれる赤色顔料のついた土器片も含まれています。

また、この地で作られたと思われる土器に加えて、東北・関東・北陸地方の形や模様をした土器も確認されています。土器や朱を通して、天白遺跡を中心としたこの地域は、東日本地方と交流のあったことがうかがえます。（担当）

## 【曾我蕭白の作品紹介】

墨画が多い蕭白作品の数少ない着彩画の2点が松阪市にあります。

一つは菅相寺所蔵の「千方牛和尚図」で、蕭白にはめずらしい禅僧の肖像画（頂相）です。黄色の袈裟、赤い曲枱（椅子）などの原色を用いた色彩や、曲枱の飾り、僧侶の面貌などの表現に蕭白の特徴が表れています。上に書かれた賛によると、松阪の商人藤田氏が、師千方牛和尚の像を蕭白に描かせたものであることがわかります。

もう一つは、継松寺所蔵の「雪山童子図」で、ドラマチックな場面と色彩が印象的な作品です。雪山で修業中の姿羅門（釈迦の前世）が飢えた羅刹（釈迦を試すために化身した帝釈天）に教えを聞いたことと引き換えに自らの身を与えようとする場面が描かれています。



千方牛和尚図

婆羅門の衣や唇の深紅と相対する羅刹の体の群青は、墨と藍を基調とする穏やかな背景とは対照的です。寺記によると松阪の商人村田彦左衛門が継松寺に寄進したといわれています。蕭白の独特な色使いは家業の紺屋（染物屋）の影響を感じるという説もあります。三重県指定有形文化財の「雪山童子図」は、期間限定の公開（11月12日から24日まで）ではありますが、その驚くべき絵画を実際にみていただきたいと思えます。

11月16日（土）の講演会には、三重県において曾我蕭白研究の第一人者である山口泰弘三重大学教育学部教授にお越しいただき、「曾我蕭白の伊勢地方遊歴を追う～松坂を中心に～」という演題でご講演いただきます。

松阪と蕭白との関わりについて知ることができる機会となると思えますので、是非お越しください。（所長）



雪山童子図

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

11月の休館日は、5日（火）、11日（月）、18日（月）、25日（月）、  
12月・年末年始の休館日は、2日（月）、9日（月）、16日（月）、23日（月）、12/29～1/3です。  
開館時間は 9：00～17：00 です。

【はにわ館】 入館料 350円（特別展開催期間中、18歳以下無料） \*入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」  
第2展示室 ■はにわ館特別展「松坂を愛した稀代の画家 曾我蕭白」12/1（日）まで  
★11/16（土）、17（日）は「関西文化の日」のため、はにわ館の入館は無料です！

### 【ギャラリー】 入場無料

第1G ■清水千佳子 ネイチャー・アート展Ⅶ 11/1（金）～11/4（月・振休）9:00～17:00 ※初日は12:00から、最終日は16:00まで  
第2G ■グループいずみ 日本画展 11/6（水）～11/10（日）9:00～16:30 ※初日は12:00から、最終日は16:00まで  
第3G ■全日本写真連盟マツサカ四五百支部 第28回写真展 11/7（木）～11/10（日）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで  
第1G ■写真人作品展 11/8（金）～11/10（日）10:00～17:00 ※最終日は16:00まで  
第2G ■第97回 松阪銀鈴会写真展 11/12（火）～11/17（日）10:00～17:00 ※初日は13:00から、最終日は16:00まで  
第3G ■無形民俗文化財『かんこおどり展』 11/12（火）～11/17（日）9:00～16:00  
第1G ■水彩教室ほ乃 作品展 11/15（金）～11/17（日）9:00～17:00 ※最終日は15:00まで  
第1・2・3G ■表具作品展 11/23（土・祝）～11/24（日）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで  
第2G ■花岡公民館 伊勢型紙展 11/26（火）～12/1（日）9:00～17:00 ※初日は13:00から、最終日は15:00まで  
第1G ■ふるさとスケッチ「風の会」作品展 11/28（木）～12/1（日）9:00～17:00 ※最終日は16:00まで  
第3G ■第8回 四五百の森の拓本会 幹は松坂 枝はそれぞれ展 11/29（金）～12/1（日）9:00～16:00 ※最終日は15:00まで

### 【講演会・イベント】

第3G ★ワークショップ「墨絵を描こう」「とんぼ玉付き勾玉をつくろう」  
11/4（月・振休）10:00～15:30（受付は15:00まで）※予約不要、参加費（1セット）300円  
文化財センター内 ★スタンプラリー 11/4（月・振休） ※すべてのポイントをまわるとシールがもらえます。  
松阪図書館 ★特別展講演会 11/16（土）13:30～15:00 ※入場無料、先着60名（受付13:00から）  
演題：「曾我蕭白の伊勢地方遊歴を追う～松坂を中心に～」講師：山口泰弘さん（三重大学教育学部教授）



バーコード読み取り  
（文化財センター情報）